

【日本協同教育学会 第20回大会 公開ワークショップ】

10/27(日) 11:45~13:45 2704教室

看図アプローチ入門

鹿内 信善(北海道教育大学名誉教授)・石田 ゆき(日本医療大学)

看図アプローチを初めて体験する方を対象とする一般公開のワークショップ(無料)です。定員32名。

お申し込みはこちらのフォーム(<https://forms.gle/bbeEEdiFXDsD1ce46>)もしくは下のQRコードから。



【講師プロフィール】 鹿内 信善(しかないのぶよし)

1978年名古屋大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学

その後早稲田大学にて、博士(教育学)取得

北海道教育大学教授・福岡女学院大学教授・天使大学教授を経て現在、北海道教育大学名誉教授

専門は教育心理学・読書心理学・教科教育学

【著書】

『改訂増補協同学習ツールのつくり方いかし方ー看図アプローチで育てる学びの力ー』ナカニシヤ出版

『見ることを楽しみ書くことを喜ぶ協同学習の新しいかたちー看図作文レポートリーー』ナカニシヤ出版

『《創造的読み》への手引ー詩の授業理論へー』勁草書房

『やる気をひきだす看図作文の授業ー創造的[読み書き]の理論と実践ー』春風社

他多数

【主要論文】

「看図アプローチが導く主体的学び」『主体的学び』第4号

「アクティブ・ラーニングを引き出す『保育の心理学』の授業づくりー看図アプローチを活用してー」

『全国看図アプローチ研究会研究誌』第4号

他多数

【講師プロフィール】 石田 ゆき(いしだゆき)

2010年北海道教育大学大学院教育学研究科修士課程修了

全国看図アプローチ研究会専属アートスタッフ

日本医療大学非常勤講師

専門は、教材デザイン・教育学・美術教育

【受賞】

『絵本 UNRESTRAINED』 第4回 雪のデザイン賞 奨励賞

『うさちゃんポンテレケ』北海道ピクチャーストーリーコンテスト 北海道新聞社賞

【著書】

『看図作文指導要領ー「みる」ことを「書く」ことにつなげるレッスンー』(共著) 溪水社、他

【論文】

「看図アプローチにおける『きゅうちゃん』活用術」『看護教育』第65巻第4号

「きゅうちゃんの歴史(I)ー誕生編」『全国看図アプローチ研究会研究誌』第16号

「きゅうちゃんの歴史(II)ーとっても大事な『ちょこっと使い』編」『全国看図アプローチ研究会研究誌』第17号

他多数

他多数

看図アプローチ入門

鹿内信善(北海道教育大学名誉教授)・石田ゆき(日本医療大学)

キーワード： 看図アプローチ，学習指導要領，ビジュアルリテラシー

看図アプローチの基本スタンス

学習指導要領に準拠しながら超えていく。

看図アプローチとは

看図アプローチは「見ること」を活用した授業づくりの方法です。協同学習を引き出すツールにもなります。このため、「看図アプローチ協同学習」ともよんだりします。

なぜ「見ること」を重視するのか

理由はいくつかあります。ひとつは、「見ること」は楽しいからです。このWSでも見ることの楽しさ・面白さを体験できます。見ることの楽しさを起点にして授業を組み立てていけば「多段階動機づけ」が可能になります。その結果、学習者も教師も「大満足」の授業が実現します。

もうひとつの理由は「見るメディア」が急速に発展してきていることです。また「見る力」や「見る活動」が求められる職業もたくさんあります。「見る学力」の育成が強く求められている時代なのです。ところが日本では、「見ること」の教育方法は、これまで確立されてきませんでした。

すべての学力の基礎となるのは国語学力です。しかし、日本の国語学力は「読むこと」「書くこと」「話すこと」「聞くこと」の4つの活動を通して育成されてきました。また、小中高の国語科学習指導要領には「見ること」の指導指針はまったく書かれていません。このような現実、日常の教育場面に様々な弊害をもたらしています。

教師は、教材を「よく見てください」という指示を与えることがあります。しかしこれはまったく無意味な指示なのです。なぜならば「よく見る」ために何をしたらいいのかを学習者は知らないからです。驚くべきことに、「よく見て」と言っている教師自身も「よく見る」とはどうすることなのかわかっていません。

学習者によく見てほしいければ、「よく見る」行動を引き出すための教育方法が必要になります。「見ること」の教育方法として確立されたのが看図アプローチなのです。

ものこと原理で引き出す「よく見る」活動

看図アプローチでは、「ビジュアルテキストも読むものである」という発想の転換に基づき、ビジュアルテキストの情報処理モデルを組み立てています。それは極めてシンプルなものです。授業づくりの際、容易に使いこなせるものです。看図アプローチでは「もの」と「こと」に分けてビジュアルテキストを読み解いていきます。これを「ものこと原理」

とよんでいます。「ものこと原理」を順に適用していくことで「よく見る」活動を引き出すことができます。ものこと原理は以下の3つの処理活動を含んでいます。

【変換】ビジュアルテキストの中に描かれている、あるいは写っている、「もの」を「言葉」に置き換える活動。

【要素関連づけ】ビジュアルテキストを構成している諸要素を相互に関連づける活動。

【外挿】ビジュアルテキストの中に描かれている、あるいは写っている、「こと」を超えて発展的に考えていく活動。

看図アプローチを取り入れるとどんな良いことがあるのか

新しい学力である「見る学力」を育てることができます。見る学力はビジュアルリテラシーともよばれます。ビジュアルリテラシーとはビジュアルテキストを読み解き、読み解いた結果を発信する力のことです。意欲・関心や協同性を高めるなど情意面でのサポートにも役立ちます。

看図アプローチは汎用性の高い授業づくりの方法なので保育者養成・教員養成・看護師養成・セラピスト養成等々で活用されています。職場の研修会・新人教育・生涯学習講座・地域の健康講座などでも活用されています。さらに、4～5歳児から小・中・高・大・成人まで、幅広い年齢層の学習指導にも活用可能です。

今回のワークショップで読み解いていくビジュアルテキスト(イメージ)



【文献】

石田ゆき 2024 「看図アプローチにおける『きゅうちゃん』活用術」 『看護教育』 Vol.65 No.4 pp. 438-443 医学書院

鹿内信善編著 2014 『見ることを楽しみ書くことを喜ぶ 協同学習の新しいかたち●看図作文レパートリー●』 ナカニシヤ出版

鹿内信善 2015 『改訂増補 協同学習ツールのつくり方いかし方—看図アプローチで育てる学びの力—』 ナカニシヤ出版